

いじめ防止にむけて ～保護者の皆様へ～

北海道雨竜高等養護学校

1 はじめに

本校ではすべての教職員がいじめや、いじめを傍観するなどの行為を絶対に許さないという姿勢で、どのようなことでも必ず親身になって相談に応じます。

2 いじめとは（いじめの定義）

(1)当該生徒等と一定の人間関係にある他の生徒等が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）

(2)当該行為の対象となった生徒等が心身の苦痛を感じているもの。

（いじめ防止対策推進法第2条第1項より抜粋）

3 学校の取組み

(1)いじめ対策委員会の設置

・いじめの未然防止やいじめを許さない環境づくり、いじめ発生時の対応等のため「いじめ対策委員会」を設置しています。

(2)早期発見・見逃しゼロのための取組

・「心の健康観察シート（毎週実施）」「いじめの把握のためのアンケート（年3回実施）」などを用いて、日常的な教育相談の工夫、充実に努め、積極的に対応します。
・保護者と連携して生徒を見守るために、日頃から学校（寄宿舍）での様子について連絡をします。

(3)いじめが発生した際の対応

・いじめと疑われる行為を発見したり、相談や訴えがあった場合には、いじめられた生徒やいじめを知らせてきた生徒の安全確保に配慮し、速やかに対応します。
・いじめの様態が犯罪行為として取り扱われるべきものと認められた場合は、状況に応じて警察への相談を視野に入れた対応をします。

4 各家庭に御協力いただきたいこと

いじめを早期に発見し見逃さないためには御家庭からの御協力が不可欠です。

お子様の様子に変化を感じた際には、次の項目を参考にチェックしていただき、気になることがありましたら学校へ御連絡いただきますようお願いいたします。

家庭用 子どもの様子チェックリスト

日常における家庭生活の変化

- 服のよごれや破れ、からだにあざやすり傷があっても理由を言いたがらない。
- すぐに自分の部屋にかけこみ、なかなか出てこない。外出したがらない。
- いつもより帰宅（帰省）が遅い。
- 電話に出たがらない。
- お金の使い方が荒くなったり、無断で家から持ち出すようになったりする。
- 成績が下がり、書く文字の筆圧が弱くなる。
- 食欲がなくなる。ため息をつくことが多くなる。なかなか寝つけない。

持ち物の変化

- 持ち物などがこわされている。道具や持ち物に落書きがある。
- 学用品や持ち物がなくなっていく。買い与えた覚えのない品物をもっている。

友人関係の変化

- 遊んでいる際、友達から横柄な態度をとられている。友達に横柄な態度をとる。
- 友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいた友達と遊ばなくなったりする。
- 友達から頻繁に電話がかかってきて外出が増える。メール（SNS など）を気にする。
- いじめの話をすると強く否定する。

家族との関係の変化

- 親と視線を合わせない。
- 家族と話をしなくなる。学校の話をしなくなるようになる。
- 親への反抗や弟や妹をいじめる、ペットにやつあたりする。

登下校の様子

- 朝、なかなか起きてこない。
- いつもと違って、朝食を食べようとしめない。
- 疲れた表情をしている。ぼんやりとしている。ふさぎこんでいる。
- 登校時間が近づくと、頭痛や腹痛、発熱、吐き気など体調不良を訴えて登校を渋る。
- 友達の荷物を持たされている。
- 一人で登下校するようになる。遠回りをして登下校するようになる。（通学生）
- 途中で家に戻ってくる。